

山 行 報 告 書

山 名：木曾駒ヶ岳（2,956m）		（長野県駒ヶ根市）		
入山日：平成27年5月16日(土)～17日(日) 日帰り・(1泊2日)		帰宅日5月17日		
プラン担当者 正：田中正 副：				
参 加 者	L：報：記：田中正 蓑島、中込夫妻			
	男2名、女2名、計 4名			
最終打合せ： 月 日（ ）				
記 録	集合時間： 午前5時	集合場所：中込宅		
5月16日(土)	大宮（5：10）＝日高・狭山IC＝駒ヶ根IC＝菅の台バスセンターP（8：22） ＝（路線バス）＝しらび平（1,662m）→ 千畳敷（2,612m）（9：37） ホテル千畳敷（泊）			
5月17日(日)	ホテル（5：45）－乗越浄土（7：25）－中岳（7：48）－駒ヶ岳（8：26 ～8：41）－頂上山荘（8：55）－中岳（9：31）－千畳敷（10：35） → しらび平（11：07～11：20）＝菅の台バスセンター（11：51） ＝こぶしの湯（12：10～13：34）＝駒ヶ根IC＝日高・狭山IC（17：2 0）＝大宮（18：05）			
荒天候時のエスケープルート：				
装 備 と 食 糧	共同装備：ツエルト（2） 共同食：			
	個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、アイゼン（10～12本）、ピッケル、コンパス、地図、携帯 個人食：昼食、水、行動食			
感 想 田 中 正 ）	<p>16日は、天気予報どおり雨。市の外国人誘致事業で行われていた二組の結婚式を見学したり、山の話などをしてゆっくり過ごした。</p> <p>二日目は、朝から好天となった。外に出ると少し寒い。千畳敷カールは一面雪に覆われている。スキーやスノーボードの元気のよい若者を横目に、アイゼンを装着し、慎重に雪面を登っていく。乗越浄土の手前で、アイゼンを外すと、その後、雪はほとんどなかった。宝剣岳を左に見送り、宝剣山荘、天狗荘の横を抜けて、中岳に向かった。ここから、煙をはく雪を抱いた御嶽山が大きい。右手には、南アルプス連峰の上に、富士山の姿も見えた。出発から2時間40分で、駒ヶ岳山頂に到着。乗鞍岳、槍、穂高を始め、北アルプスが延々と続いて見える。展望を十分楽しみ、山頂を後にした。この時期、山小屋がまだ開いていなかったが、中込さんが見つけたホテル千畳敷「春の宿泊プラン」（ロープウェイ往復券等を含むお得プラン）のおかげで、千畳敷に留まって二日目の登頂に備えられたことが、余裕を持った計画・山行となった。</p>			